



地域の「今」から、宮崎の未来を描く。

ヒムカレッジ

vol.2

# 千年 生きる村を。

西都市 銀鏡の挑戦

2017年

9/12(火)

18:30-20:30  
(開場 18:00)

会場

みやざき NPO・協働支援センター

(〒880-0811 宮崎県宮崎市錦町 1-10 宮崎グリーンズフィア壱番館 (KITEN)3F)

定員

30名

参加費

無料

講師

はますな しゅうじ

濱砂 修司 氏

農業生産法人 株式会社かぐらの里 代表取締役社長

宮崎県西都市の銀鏡生まれ。3人兄弟の長男。小学校3年から剣道一筋で、学生時代は1日も欠かさず竹刀の素振りをするほどの負けず嫌いの性格。卒業後、JA入社。山間部を1軒1軒回り、地域に根付いた仕事を行った。10年後、「集落存続のためには働く場所は絶対である」との決意で、父の事業を継ぐことを決める。過疎化に揺れながらも、豊かな自然、歴史、文化をもつ「銀鏡」という村を残すための会社を目指している。今後は、村の中で生きるための衣・食・住の総合的な会社にし、これからの千年を生きる村づくりの夢をもっている。



主催：みやざき NPO・協働支援センター お申し込みなどの詳細につきましては、裏面をご覧ください。

# 地域に根差した企業が行う、これからの千年を生きる村づくり

旧東米良村時代において主な産業としていた林業が衰退していった時に、「地域がなくなってしまうのではないか、そうなれば国指定重要無形文化財の銀鏡神楽などの集落の伝統文化や歴史もまた消滅してしまう。」そんな危機感をもった村の先達が残してくれた製品の柚子。

1次産業から始め、今は製造販売まで行う6次産業化に。また海外への輸出は約20年になり、扱う商品は約100種類。銀鏡にはなくてはならなくなった農業生産法人 株式会社かぐらの里。

父が起こしたかぐらの里に入社した当初は、不眠不休で働き当時の記憶がほとんどないと言う。そんな中、友人がボランティア活動をしているのを知って衝撃が走り、これが本当に自分のやりたい事だと気付いた。それを契機に仕事を通して地域に貢献することが究極のボランティアだと思うようになった。

山村留学では子供たちの受け入れを行ったり、銀鏡神楽の舞い手として活動したり、地域活動を行いながら、今では会社の中に「地域活性対策室」を設け、豊かな自然、歴史、文化を持つ「銀鏡」という村を残すための会社を目指している。

今後は、かぐらの里を村の中で生きるための衣食住の総合的な会社にし、連綿と続いている銀鏡と言う地域を守るために、千年続く会社をめざして行くと言うビジョンをもって、日々銀鏡を元気にする活動に取り組んでいる。

瀨砂社長の経済活動、地域活動、そして銀鏡地域の活性化から、ひと時も目を離すことは出来ない。

どうぞお早めにお申し込みください。たくさんの方のご参加お待ちしております。



## タイムスケジュール

- 18:00 受付開始
- 18:30 主催者挨拶
- 講座
- 振り返り・質疑応答
- 20:30 終了

## 場所 みやざき NPO・協働支援センター

(〒880-0811 宮崎県宮崎市錦町1-10  
宮崎グリーンスフィア壱番館 (KITEN) 3F)



※公共交通機関、もしくは最寄の有料駐車場をご利用下さい。

## お問い合わせ・お申込み

### みやざき NPO・協働支援センター

TEL: 0985-74-7075

FAX: 0985-74-7076

Mail: info@miyazaki-ksc.org



下記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX (0985-74-7076) にてご送信下さい。また右上のQRコードからweb ページ経由の申込みもできます。

## 講演や研修会に利用するスペースをお探しの方へ!!

みやざき NPO・協働支援センターの活動支援スペースは無料でご利用できます。



詳しくは WEB で! <http://miyazaki-ksc.org/>

## 《参加申込書》

FAX : 0985-74-7076

ふりがな		ご所属 (任意)	
お名前			
電話番号	-	メールアドレス	@